

正負の数 ② 加法 問題演習

中学1年生・数学 / 第1章 正負の数 / 難易度：標準

大問1 (基礎) 次の計算をしなさい。

(1) $(+6)+(+3)$ _____

(5) $(-2)+(+2)$ _____

(2) $(-4)+(-5)$ _____

(6) $(+7)+(-10)$ _____

(3) $(+8)+(-3)$ _____

(7) $0+(-6)$ _____

(4) $(-9)+(+4)$ _____

(8) $(-12)+(-8)$ _____

大問2 (標準) 次の計算をしなさい。(7)は工夫して計算)

(1) $(+5)+(-8)+(+3)$ _____

(5) $(+1.5)+(-2.5)$ _____

(2) $(-6)+(+9)+(-4)$ _____

(6) $(-0.8)+(+0.3)$ _____

(3) $(+12)+(-7)+(-5)$ _____

(7) $(+18)+(-25)+(+7)$ _____

(4) $(-3)+(-7)+(+10)$ _____

大問3 (発展)

(1) 工夫して計算しなさい。 $(-15)+(+8)+(-6)+(+13)$ _____

(2) ある数に (-7) をたすと -3 になりました。ある数を求めなさい。 _____

(3) $\square+(-9)=+2$ を満たす数 \square を求めなさい。 _____

(4) 朝の気温は -3°C でした。昼までに 7°C 上がりました。昼の気温を、式を書いて求めなさい。

式： _____ 答え： _____

(5) 数直線上で $+2$ を表す点から、 (-5) をたす移動をすると、どの点に着きますか。 _____

解答・解説 大問1 (基礎)

- (1) **+9** 同符号 (+) → 符号そのまま、 $6+3=9$ 。
- (2) **-9** 同符号 (-) → 符号-、 $4+5=9$ 。
- (3) **+5** 異符号 → 大きいのは8 (+)、 $8-3=5$ 。
- (4) **-5** 異符号 → 大きいのは9 (-)、 $9-4=5$ 。
- (5) **0** 反対の数どうしの和は0。
- (6) **-3** 異符号 → 大きいのは10 (-)、 $10-7=3$ 。
- (7) **-6** 0をたしても変わらない。
- (8) **-20** 同符号 (-) → $12+8=20$ 、符号-。

間違えやすいポイント：(3)(4)(6)の異符号は「ひく」。 (2)(8)の同符号は「たす」。同符号と異符号でやるのが逆になる点に注意。

解答・解説 大問2 (標準)

(1) 答え 0

途中式： $(+5)+(+3)=+8$ 、 $+8+(-8)=0$ 。+どうしを先にまとめる。

(2) 答え -1

途中式： $(-6)+(-4)=-10$ 、 $(-10)+(+9)=-1$ 。-どうしをまとめる。

(3) 答え 0

途中式： $(-7)+(-5)=-12$ 、 $(+12)+(-12)=0$ 。

(4) 答え 0

途中式： $(-3)+(-7)=-10$ 、 $(-10)+(+10)=0$ 。

(5) 答え -1

途中式：異符号、大きいのは2.5 (-)、 $2.5-1.5=1.0$ 。よって-1。

(6) 答え -0.5

途中式：異符号、大きいのは0.8 (-)、 $0.8-0.3=0.5$ 。よって-0.5。

(7) 答え 0 (工夫)

途中式： $(+18)+(+7)=+25$ 、 $+25+(-25)=0$ 。順番を入れかえて+どうしをまとめる。

間違えやすいポイント：3つ以上の和は、交換・結合法則で+どうし・-どうしをまとめてから計算するとミスが減る。

解答・解説 大問3 (発展)

(1) 答え 0

途中式：+をまとめる $(+8)+(+13)=+21$ 、-をまとめる $(-15)+(-6)=-21$ 、 $(+21)+(-21)=0$ 。

考え方：交換・結合法則で正の数の和と負の数の和を別々に出してから合わせる。

間違えやすい点：4つを前から1つずつ計算すると符号ミスしやすい。まとめるのが安全。

(2) 答え +4

途中式：ある数を \square とすると $\square+(-7)=-3$ 。 \square は「-3になる前の数」なので、-3から7を戻す $\rightarrow (-3)+(+7)=+4$ 。

確認： $(+4)+(-7)=-3$ ○

間違えやすい点：「-7をたして-3」なので、逆に+7すれば元の数。-3-7としない。

(3) 答え +11

途中式： $\square+(-9)=+2 \rightarrow \square$ は+2から9を戻す $\rightarrow (+2)+(+9)=+11$ 。

確認： $(+11)+(-9)=+2$ ○

間違えやすい点：(2)と同じ考え方。「-9をたした結果が+2」なので、元は+9多い+11。

(4) 式： $(-3)+(+7)=+4$ 答え +4°C

考え方：「上がる」は正の数をたす。朝 -3°C に +7をたすと $+4^{\circ}\text{C}$ 。異符号なので $7-3=4$ 、大きいのは7 (+)。

間違えやすい点：「7°C上がった」を -7 としない。上がる=+、下がる=-。

(5) 答え -3 (点 -3 に着く)

途中式： $(+2)+(-5)=-3$ 。+2から左へ5動くと -3。

間違えやすい点： (-5) をたす=左へ5。右へ動かさない。

まとめ

加法の手順（これだけ覚える）

2数の符号	符号の決め方	絶対値の計算	例
同符号（++ / --）	そのままの符号	絶対値をたす	$(-6) + (-2) = -8$
異符号（+と-）	絶対値が大きいほうの符号	絶対値をひく（大-小）	$(+9) + (-4) = +5$

ここがポイント！

まず「同符号か異符号か」を見る → 同符号はたす・異符号はひく。

異符号のときは絶対値が大きいほうの符号をつける。

3つ以上の和は、交換・結合法則で+どうし・-どうしをまとめてから計算！

最後にもう一度チェック

- ・同符号と異符号で「たす／ひく」が逆 → ここが最大のミスどころ。
- ・反対の数の和は必ず0。
- ・「上がる・進む（右）」は+、「下がる・戻る（左）」は-。